

# 函館市下水道事業ストックマネジメント計画

函館市企業局上下水道部

策定 平成29年7月

変更 令和5年3月

## ① スtockマネジメント実施の基本方針

【状態監視保全】 … 機能発揮上、重要な施設であり、調査により劣化状況の把握が可能である施設を対象とする。

※ 状態監視保全とは、「施設・設備の劣化状況や動作状況の確認を行い、その状態に応じて対策を行う管理方法をいう。

【時間計画保全】 … 機能発揮上、重要な施設であるが、劣化状況の把握が困難な施設を対象とする。

※ 時間計画保全とは、「施設・設備の特性に応じて予め定めた周期（目標耐用年数等）により対策を行う管理方法をいう。

【事後保全】 … 機能上、特に重要でない施設を対象とする。

※ 事後保全とは、「施設・設備の異状の兆候（機能低下等）や故障の発生後に対策を行う管理方法をいう。  
備考） スtockマネジメントの実施にあたっての、施設の管理区分の設定方針を記載する。

## ② 施設の管理区分の設定

### 1) 状態監視保全施設

#### 【管路施設】

施設名称	点検・調査頻度	改築の判断基準	備考
管渠 マンホール	・5年に1回の頻度で点検を実施。 ・10年に1回または点検で異常を確認した場合、調査を実施。	緊急度Ⅱで改築を実施。	腐食環境下の管路
管渠 マンホール	・10年に1回の頻度で点検を実施。 ・20年に1回または点検で異常を確認した場合、調査を実施。	緊急度Ⅱで改築を実施。	一般環境下 (重要な幹線)
管渠 マンホール	・15年に1回の頻度で点検を実施。 ・点検で異常を確認した場合、調査を実施。	緊急度Ⅱで改築を実施。	一般環境下 (その他の管路) 供用開始後30年経過管
マンホール蓋	・5年に1回の頻度で点検を実施。 ・10年に1回または点検で異常を確認した場合、調査を実施。	判定ランクBで改築を実施。	腐食環境下
マンホール蓋	・車道10年，歩道20年に1回の頻度で点検を実施。 ・点検で異常を確認した場合，調査を実施。	判定ランクBで改築を実施。	一般環境下 (重要な幹線)
マンホール蓋	・車道15年，歩道30年に1回の頻度で点検を実施。 ・点検で異常を確認した場合，調査を実施。	判定ランクBで改築を実施。	一般環境下 (その他の管路)
取付管・樹	・15年に1回の頻度で点検を実施。 ・点検で異常を確認した場合，調査を実施。	緊急度Ⅱで改築を実施。	コンクリート管 汚水樹は コンクリート製

【処理場・ポンプ場施設】 ※貯留施設等を含む

施設名称	点検・調査頻度	改築の判断基準	備考
スクリーンかす破砕機	8年に1度調査を実施	健全度2以下で改築を実施。	
汚水ポンプ設備	5年に1度調査を実施	健全度2以下で改築を実施。	
汚水ポンプ用エンジン	8年に1度調査を実施	健全度2以下で改築を実施。	
送風機設備	5年に1度調査を実施	健全度2以下で改築を実施。	
水中攪拌機	5年に1度調査を実施	健全度2以下で改築を実施。	
返送汚泥ポンプ設備	8年に1度調査を実施	健全度2以下で改築を実施。	
自家発電機設備	5年に1度調査を実施	健全度2以下で改築を実施。	
消毒施設	5年に1度調査を実施	健全度2以下で改築を実施。	
汚泥破砕機	7年に1度調査を実施	健全度2以下で改築を実施。	
消化タンク攪拌機	9年に1度調査を実施	健全度2以下で改築を実施。	
汚泥脱水機	3年に1度調査を実施	健全度2以下で改築を実施。	
乾燥機	3年に1度調査を実施	健全度2以下で改築を実施。	
脱臭設備	8年に1度調査を実施	健全度2以下で改築を実施。	
ガスホルダ	6年に1度調査を実施	健全度2以下で改築を実施。	
直流電源装置	12年に1度調査を実施	健全度2以下で改築を実施。	
ポンプ場汚水ポンプ	3年に1度調査を実施	健全度2以下で改築を実施。	
ポンプ場雨水ポンプ	10年に1度調査を実施	健全度2以下で改築を実施。	
雨水ポンプ用エンジン	10年に1度調査を実施	健全度2以下で改築を実施。	
除塵機	10年に1度調査を実施	健全度2以下で改築を実施。	

2) 時間計画保全施設

【管路施設】

施設名称	目標耐用年数	備考
—	—	

【処理場・ポンプ場施設】 ※貯留施設等を含む

施設名称	目標耐用年数	備考
電気設備	20年(標準耐用年数×1.5)	建築付帯設備
受変電設備	30年(標準耐用年数×1.5)	電気設備
制御電源及び計装用電源設備	10～22年(標準耐用年数×1.5)	電気設備
計装設備	15年(標準耐用年数×1.5)	電気設備
負荷設備	22年(標準耐用年数×1.5)	電気設備
監視制御設備	23年(標準耐用年数×1.5)	電気設備
非常通報装置	11年(標準耐用年数×1.5)	電気設備

備考) 施設名称を「下水道施設の改築について(平成28年4月1日 国水下水事第109号 下水道事業課長通知)」の別表に基づき記載する場合にあっては、大分類、中分類、小分類のいずれで記載してもよい。

3) 主要な施設の管理区分を事後保全とする場合の理由

【管渠施設】 管渠	…	—
【汚水・雨水ポンプ施設】 ポンプ本体	…	—
【水処理施設】 送風機本体もしくは 機械式エアレーション装置	…	—
【汚泥処理施設】 汚泥脱水機	…	—

③ 改築実施計画

1) 計画期間

令和	2	年度	～	令和	6	年度
----	---	----	---	----	---	----

2) 個別施設の改築計画

【管路施設】

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)
処理区・排水区 の名称	合流・ 汚水・ 雨水の別	対象施設	布設 年度	供用 年数	対象延長(m)	概算 費用 (百万円)	備考
港第1, 2	雨水	管きよ	1963～ 1971	51～59	841.0	169.7	
港第3-4	雨水	管きよ	1967～ 1968	54～55	85.3	20.4	
北部第5	雨水	管きよ	1961～ 1971	51～61	431.0	62.6	
北部第6	雨水	管きよ	1961～ 1971	51～61	409.7	99.5	
北部第7-1	雨水	管きよ	1959～ 1968	54～63	1,112.7	424.9	
函館湾	合流	管きよ	1967～ 1969	53～55	224.1	66.2	
南	合流	管きよ	1955～ 1967	55～67	1,196.4	322.0	
南	合流	マンホール本体	1959～ 1967	53～61	2箇所	3.7	
南	汚水	マンホール蓋	1975～ 1996	24～45	750箇所	269.6	
合計						1,438.6	

※ 計画策定時点における供用年数。改築実施時には管渠の処分制限期間である20年を超過。

【処理場・ポンプ場施設】 ※貯留施設等を含む

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)
処理場・ポンプ場等の名称	合流・汚水・雨水の別	対象施設	設置年度	供用年数	施設能力	概算費用(百万円)	備考
南部下水終末処理場(汚水処理)	合流	1系処理棟屋上防水	1974	43	—	74.5	
南部下水終末処理場(汚水処理)	合流	No.1ブロワ室換気ファン盤 LP-34	1976	41	—	0.8	
住吉ポンプ場	雨水	雨水分電盤(電灯分電盤)	1979	38	—	5.0	
住吉ポンプ場	汚水	汚水分電盤(電灯分電盤)	1979	38	—	5.0	
住吉ポンプ場	汚水	蛍光灯器具	1979	38	—	8.0	
南部下水終末処理場(汚水処理)	合流	No.7汚水ポンプ	1987	30	$\phi 900 \times 100\text{m}^3/\text{min} \times 13\text{m}$	61.2	
南部下水終末処理場(汚水処理)	合流	No.7汚水ポンプ用電動機	1987	30	310kW	3.0	
南部下水終末処理場(汚水処理)	合流	No.7汚水ポンプ用液体抵抗器	1987	30	310kW	6.6	
南部下水終末処理場(汚水処理)	合流	1系No.3反応タンク散気装置	1977	40	セラミック製ディフューザー	98.0	
南部下水終末処理場(汚水処理)	合流	3系No.1反応タンク散気装置	1987	30	セラミック製ディフューザー	75.0	
南部下水終末処理場(汚水処理)	合流	3系No.2反応タンク散気装置	1995	22	セラミック製ディフューザー	75.0	
南部下水終末処理場(汚水処理)	合流	No.1曝気ブロワ	1974	43	$100\text{m}^3/\text{min} \times 1450\text{rpm}$	121.0	
南部下水終末処理場(汚水処理)	合流	No.2曝気ブロワ	1978	39	$50\text{m}^3/\text{min} \times 2400\text{rpm}$	88.0	
南部下水終末処理場(汚水処理)	合流	No.3曝気ブロワ	1981	36	$180\text{m}^3/\text{min} \times 18800\text{rpm}$	88.0	
南部下水終末処理場(汚水処理)	合流	No.1曝気ブロワ用電動機	1973	44	150kW	—	No.1曝気ブロワに含む。
南部下水終末処理場(汚水処理)	合流	No.2曝気ブロワ用電動機	1978	39	90kW	—	No.2曝気ブロワに含む。
南部下水終末処理場(汚水処理)	合流	No.3曝気ブロワ用電動機	1981	36	250kW	—	No.3曝気ブロワに含む。
南部下水終末処理場(汚泥処理)	合流	No.2遠心脱水機	1998	19	$10\text{m}^3/\text{H} \times 40\text{kW} \times 2\text{台}$	102.3	
南部下水終末処理場(汚泥処理)	合流	No.2脱水ケーキ圧送ポンプ	1997	20	$2.5\text{m}^3/\text{h} \times 16\text{kgf}/\text{cm}^2 \times 5.5\text{kW}$	57.2	
南部下水終末処理場(汚泥処理)	合流	No.1乾燥ケーキホッパー	1992	25	$2000\text{W} \times 2600\text{L} \times 3300\text{H}, 2.2\text{kW} \times 2$	35.0	
南部下水終末処理場(汚泥処理)	合流	No.2乾燥ケーキホッパー	1992	25	$2000\text{W} \times 2600\text{L} \times 3300\text{H}, 2.2\text{kW} \times 2$	35.0	
南部下水終末処理場(汚泥処理)	合流	No.1排水ポンプ	1998	19	$\phi 80 \times 0.4\text{m}^3/\text{min} \times 3.7\text{kW}$	0.8	

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)
処理場・ポンプ場等の名称	合流・汚水・雨水の別	対象施設	設置年度	供用年数	施設能力	概算費用(百万円)	備考
南部下水終末処理場(汚泥処理)	合流	No.2排水ポンプ	1998	19	φ80×0.4m <sup>3</sup> /min×3.7kW	0.8	
湯川ポンプ場	汚水	No.1汚水ポンプ	2001	16	φ150×3m <sup>3</sup> /min×12m×15kW	40.0	
湯川ポンプ場	汚水	No.2汚水ポンプ	2001	16	φ150×3m <sup>3</sup> /min×12m×15kW	40.0	
大手ポンプ場	合流	No.4雨水ポンプ	1982	35	φ700×65m <sup>3</sup> /min×9m	70.0	
大手ポンプ場	合流	No.5雨水ポンプ	1982	35	φ500×30m <sup>3</sup> /min	60.0	
大手ポンプ場	合流	No.4雨水ポンプ用電動機	1982	35	160kW	60.0	
大手ポンプ場	合流	No.5雨水ポンプ用電動機	1982	35	75kW	50.0	
大手ポンプ場	合流	No.4液体抵抗器	1982	35	160kW	45.7	
大手ポンプ場	合流	No.5金属抵抗器	1982	35	450kW	36.0	
住吉ポンプ場	汚水	脱臭塔	1981	36	900W×900H×3000L	30.0	
宇賀浦ポンプ場	合流	No.1汚水ポンプ	1995	22	10m <sup>3</sup> /min×10m×37kW	37.5	
宇賀浦ポンプ場	合流	No.2汚水ポンプ	1995	22	10m <sup>3</sup> /min×10m×37kW	37.5	
日吉第2MP	汚水	No.1ポンプ	1994	23	φ80×0.4m <sup>3</sup> /min×3.7kW	5.0	
日吉第2MP	汚水	No.2ポンプ	1994	23	φ80×0.4m <sup>3</sup> /min×3.7kW	5.0	
榎本第1MP	汚水	No.1ポンプ	1995	22	φ80×0.4m <sup>3</sup> /min×1.5kW	5.0	
榎本第1MP	汚水	No.2ポンプ	1995	22	φ80×0.4m <sup>3</sup> /min×1.5kW	5.0	
湯川第1MP	汚水	No.1ポンプ	1989	28	φ100×1.2m <sup>3</sup> /min×3.7kW	6.8	
湯川第1MP	汚水	No.2ポンプ	1989	28	φ100×1.2m <sup>3</sup> /min×3.7kW	6.8	
南部下水終末処理場(汚水処理)	合流	CRT監視操作卓_D01	2000	17	800W×800D×700H	20.0	
南部下水終末処理場(汚水処理)	合流	CRT監視操作卓_D02	2000	17	800W×800D×700H	20.0	
南部下水終末処理場(汚水処理)	合流	カラーハードコピー_CHC	2000	17	PC-PK4110N	5.0	
南部下水終末処理場(汚水処理)	合流	プリンタ_PR1-1	2000	17	LBP-740c	1.0	
南部下水終末処理場(汚水処理)	合流	プリンタ_PR1-2	2000	17	—	1.0	
南部下水終末処理場(汚水処理)	合流	遠方監視制御装置(1)_T01	2000	17	700W×600D×2300H	8.0	
南部下水終末処理場(汚水処理)	合流	UPS_001	2000	17	250W×600D×700H×2台	1.0	
南部下水終末処理場(汚水処理)	合流	No.7汚水ポンプ動力盤	1987	30	800W×2100D×2300H	33.0	
南部下水終末処理場(汚水処理)	合流	No.7汚水ポンプ現場盤	1987	30	600W×430D×1800H	33.0	
南部下水終末処理場(汚水処理)	合流	No.1曝気ブロワ現場盤	1974	43	—	—	No.1曝気ブロワに含む
南部下水終末処理場(汚水処理)	合流	No.1曝気ブロワ吸込風量計	1974	43	—	—	No.1曝気ブロワに含む
南部下水終末処理場(汚水処理)	合流	No.2曝気ブロワ現場盤	1978	39	700W×500D×1900H	—	No.2曝気ブロワに含む
南部下水終末処理場(汚水処理)	合流	No.2曝気ブロワ吸込風量計	1978	39	0~80m <sup>3</sup> /min	—	No.2曝気ブロワに含む
南部下水終末処理場(汚水処理)	合流	No.3曝気ブロワ現場盤	1981	36	700W×500D×1800H	—	No.3曝気ブロワに含む
南部下水終末処理場(汚水処理)	合流	No.3曝気ブロワ吸込風量計	1981	36	0~200m <sup>3</sup> /min	—	No.3曝気ブロワに含む
南部下水終末処理場(汚水処理)	合流	No.7反応タンク吹込調節弁現場盤	1987	30	500W×430D×600H(+900)	1.2	
南部下水終末処理場(汚水処理)	合流	No.8反応タンク吹込調節弁現場盤	1995	22	500W×430D×600H(+900)	1.2	

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)
処理場・ポンプ場等の名称	合流・汚水・雨水の別	対象施設	設置年度	供用年数	施設能力	概算費用(百万円)	備考
南部下水終末処理場(汚泥処理)	合流	No.1・2脱水設備コントロールセンタ C52	1997	20	700W×600D×2300H	4.2	
南部下水終末処理場(汚泥処理)	合流	No.2脱水ケーキ圧送ポンプインバータ盤_1B2	1997	20	700W×800D×2300H	4.2	
南部下水終末処理場(汚泥処理)	合流	No.1・2汚泥供給ポンプ現場盤_S201	1997	20	500W×300D×900H	2.5	
南部下水終末処理場(汚泥処理)	合流	No.2脱水ケーキ圧送ポンプ現場盤_S203	1997	20	700W×300D×800H	2.5	
南部下水終末処理場(汚泥処理)	合流	薬品注入ポンプ現場盤_S205	1997	20	900W×400D×1900H	3.0	
南部下水終末処理場(汚泥処理)	合流	No.1薬品溶解タンク設備現場盤	1997	20	900W×400D×1900H	3.0	
南部下水終末処理場(汚泥処理)	合流	脱水機洗浄水ポンプ現場盤_S208	1997	20	500W×300D×800H	2.5	
南部下水終末処理場(汚泥処理)	合流	No.2汚泥供給量計	1997	20	80A、0～20m3/h	1.7	
南部下水終末処理場(汚泥処理)	合流	No.2脱水ケーキ圧送ポンプフィード重量計	1997	20	—	1.3	
南部下水終末処理場(汚泥処理)	合流	No.2脱水機インバータ盤_VVVF2	1997	20	—	5.0	
南部下水終末処理場(汚泥処理)	合流	脱水ケーキ水分計(NO.1・2用)	1997	20	—	1.7	
南部下水終末処理場(汚泥処理)	合流	キャリアガススクラバ出口温度計	1991	26	—	5.5	
南部下水終末処理場(汚泥処理)	合流	No.1乾燥ケーキホッパー重量計	1991	26	20tf	5.5	
南部下水終末処理場(汚泥処理)	合流	No.2乾燥ケーキホッパー重量計	1991	26	20tf	5.5	
南部下水終末処理場(汚泥処理)	合流	乾燥ケーキ含水率計	1991	26	—	8.5	
南部下水終末処理場(汚水処理)	合流	3系No.1反応タンク吹込基幹風量計	1987	30		11.0	
南部下水終末処理場(汚水処理)	合流	No.2トランス盤	1987	30	1928W×1120D×2455H	4.0	
南部下水終末処理場(汚水処理)	合流	No.1ブロワ盤	1974	43	750W×2100D×2300H	5.3	
南部下水終末処理場(汚水処理)	合流	No.2ブロワ盤	1978	39	750W×2100D×2300H	5.3	
南部下水終末処理場(汚水処理)	合流	コントロールセンタ(ブロワ1)	1974	43	600W×500D×2300H	3.5	
南部下水終末処理場(汚水処理)	合流	コントロールセンタ(ブロワ2)	1974	43	600W×500D×2300H	3.5	
南部下水終末処理場(汚水処理)	合流	補助継電器盤(ブロワ1)	1974	43	800W×550D×2300H	1.7	
南部下水終末処理場(汚水処理)	合流	補助継電器盤(ブロワ2)	1974	43	800W×550D×2300H	1.7	
南部下水終末処理場(汚水処理)	合流	ポンプ場監視制御装置1-1,2(1CD-1,2)(佐古、宇賀浦)	2007	10	1400W×800D×700H	10.0	
南部下水終末処理場(汚水処理)	合流	ポンプ場監視制御装置2-1,2(1CD-3,4)(大平、湯川)	2008	9	1400W×800D×700H	10.0	
南部下水終末処理場(汚泥処理)	合流	No.1・2脱水設備コントロールセンタ	1997	20	—	3.5	
南部下水終末処理場(汚泥処理)	合流	空気圧縮機現場盤S87	1992	25	500W×300D×700H	2.5	
南部下水終末処理場(汚泥処理)	合流	スクラバ給水ポンプ現場操作盤 S90	1992	25	500W×300D×700H	12.0	
南部下水終末処理場(汚泥処理)	合流	キャリアガス循環ファン現場操作盤 S85	1992	25	400W×300D×800H	13.0	
南部下水終末処理場(汚泥処理)	合流	スクラバ洗浄ポンプ現場操作盤 S84	1992	25	500W×300D×800H	13.0	
南部下水終末処理場(汚泥処理)	合流	排水ポンプ現場操作盤 S88	1992	25	500W×300D×700H	13.0	
南部下水終末処理場(汚泥処理)	合流	乾燥スチームヘッド圧力計	1991	26	—	1.0	
志海苔ポンプ場	汚水	CRT監視装置_D11	2000	17	900W×1200D×700H	22.5	
志海苔ポンプ場	汚水	プリンタ_PR2	2000	17	900W×1200D×700H	3.4	

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)
処理場・ ポンプ場等 の名称	合流・ 汚水・ 雨水の別	対象施設	設置 年度	供用 年数	施設能力	概算 費用 (百万円)	備考
志海苔ポンプ場	汚水	入出力装置盤_P01	2001	16	700W×600D×2300H	15.0	
志海苔ポンプ場	汚水	遠方監視装置盤(子局)_T11	2000	17	700W×600D×2300H	10.1	
志海苔ポンプ場	汚水	UPS_U11	2000	17	250W×520D×460H ×2	2.6	
志海苔ポンプ場	汚水	CRT監視装置 CRT-3	2000	17	1400W×800D×700H	78.5	
志海苔ポンプ場	汚水	テレメータ盤_S- TM-1	2000	17	—	11.9	
湯川ポンプ場	汚水	引込受電盤_H1	1989	28	1000W×1900D×2300H	13.1	
湯川ポンプ場	汚水	直流電源装置盤 _DC-1	1989	28	980W×1000D× 2300H、20Ah	13.3	
湯川ポンプ場	汚水	変換器盤_KTD1	1989	28	680W×830D×2300H	13.1	
湯川ポンプ場	汚水	No.1インバータ盤(No.1,2汚 水ポンプ)_VVF1	1989	28	800W×830D×2300H	18.4	
湯川ポンプ場	汚水	変圧器盤H-2	1989	28	1200W×2000D× 2300H	13.4	
湯川ポンプ場	汚水	動力主幹照明盤 ML-1	1989	28	1200W×2000D× 2300H	11.4	
湯川ポンプ場	汚水	中央監視操作盤 KP1.1	1989	28	600W×1500D× 1700H	14.0	
湯川ポンプ場	汚水	中央監視操作盤 KP1.2	1989	28	1000W×1500D× 1700H	14.0	
港ポンプ場	雨水	自家発電機	1988	29	同期発電機70kVA、デー ゼルエンジン95PS	48.0	
港ポンプ場	雨水	消音器	1988	29		7.0	
大手ポンプ場	合流	高圧引込盤_R-MC-1	1982	35	1000W×2000D× 2300H	13.6	
大手ポンプ場	合流	高圧受電盤_R-MC-2	1982	35	800W×2000D× 2300H	13.6	
大手ポンプ場	合流	沈砂池設備シーケン サ盤_S-SQC-1	1998	19	800W×550D×2300H	20.4	
大手ポンプ場	合流	ポンプ設備シーケン サ盤(1)_P-SQC-1	1998	19	800W×550D×2300H	23.0	
大手ポンプ場	合流	ポンプ設備シーケン サ盤(2)_P-SQC-2	1998	19	800W×550D×2300H	21.1	
大手ポンプ場	合流	ポンプ設備シーケン サ盤(3)_P-SQC-3	1998	19	800W×550D×2300H	24.5	
大手ポンプ場	合流	No.4雨水ポンプ盤 _P-I.B-4	1982	35	800W×600D×1900H	6.8	
大手ポンプ場	合流	No.5雨水ポンプ盤 _P-I.B-5	1982	35	800W×600D×1900H	6.8	
大手ポンプ場	合流	No.4雨水ポンプ盤 R-MC-8	1982	35	800W×2000D× 2300H	7.9	
大手ポンプ場	合流	自家発電引込盤及びコ ンデンサ盤 R-MC-3	1982	35	800W×2000D× 2300H	10.2	
大手ポンプ場	合流	照明変圧器1次盤及び 200V動力切替盤 R-MC-4	1982	35		10.4	
大手ポンプ場	合流	3kV動力変圧器1次 盤 R-MC-5	1982	35		10.8	
大手ポンプ場	合流	200V動力変圧器盤 R-MC-10	1982	35	1400W×2000D× 2300H	17.9	
大手ポンプ場	合流	200V動力変圧器盤及び200V照明 変圧器2次盤 R-MC-11	1982	35	1000W×2000D× 2300H	6.4	
大手ポンプ場	合流	照明変圧器盤 R- MC-12	1982	35	1000W×2000D× 2300H	6.7	
大手ポンプ場	合流	No.1コンデンサ盤 R-MC-13	1982	35	1000W×2000D× 2300H	7.7	
大手ポンプ場	合流	No.2コンデンサ盤 R-MC-14	1982	35	1000W×2000D× 2300H	7.7	
大手ポンプ場	合流	No.3コンデンサ盤 R-MC-15	1982	35	1000W×2000D× 2300H	7.7	
大手ポンプ場	合流	直流電源装置盤 R- BB-1	1982	35	1800W×1200D× 2300H	22.0	



(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)
処理場・ポンプ場等の名称	合流・汚水・雨水の別	対象施設	設置年度	供用年数	施設能力	概算費用(百万円)	備考
大手ポンプ場	合流	直流電源装置盤 R-BB-2	1982	35	800W×1200D×2300H	15.2	
大手ポンプ場	合流	無停電電源装置 R-UPS-1	1982	35	800W×1200D×2300H	30.7	
大手ポンプ場	合流	無停電電源装置 R-UPS-2	1982	35	800W×1200D×2300H	7.0	
大手ポンプ場	合流	受変電・自家発入出力盤 R-SQC-1	1998	19	800W×550D×2300H	10.5	
住吉ポンプ場	汚水	脱臭ファン盤 LB-2	1981	36	350W×300D×550H	1.0	
住吉ポンプ場	汚水	受電盤	1981	36	800W×1600D×2300H	50.0	
住吉ポンプ場	汚水	自家発電装置(汚水)	1981	36	交流発電機120kVA	80.0	
住吉ポンプ場	汚水	消音器(汚水)	1981	36	—	10.2	
住吉ポンプ場	汚水	燃料移送ポンプ(汚水)	1988	29	φ20×3kg/cm <sup>2</sup> 0.4kW×4P×200V×50Hz	4.2	
住吉ポンプ場	汚水	燃料小出槽(汚水)	1981	36	—	5.2	
住吉ポンプ場	雨水	自家発電装置(雨水)	1988	29	交流発電機150kVA、ディーゼルポンジン220HNS	50.0	
住吉ポンプ場	雨水	一次消音器(雨水)	1988	29	—	10.2	
住吉ポンプ場	雨水	二次消音器(雨水)	1988	29	—	10.2	
住吉ポンプ場	雨水	自家発用給気ファン(雨水)	1988	29	—	10.2	
住吉ポンプ場	雨水	燃料移送ポンプ(雨水)	1988	29	—	5.2	
住吉ポンプ場	雨水	燃料小出槽(雨水)	1988	29	—	5.2	
住吉ポンプ場	雨水	屋外燃料タンク	1988	29	—	10.3	
住吉ポンプ場	汚水	変圧器盤	1982	35	800W×1600D×2300H	53.0	
住吉ポンプ場	汚水	低圧配電盤	1982	35	700W×1600D×2300H	10.2	
住吉ポンプ場	汚水	電源切替盤	1998	19	1300W×650D×2300H	7.0	
住吉ポンプ場	汚水	スコットトランス	1998	19	—	8.0	
住吉ポンプ場	汚水	冷却水槽(汚水)	1996	21	—	10.2	
住吉ポンプ場	汚水	冷却水ポンプ(汚水)	1996	21	φ50×0.375m <sup>3</sup> /min×5.1m×0.75kW×2P	4.0	
住吉ポンプ場	汚水	直流電源盤	1981	36	600W×540D×2300H	8.7	
住吉ポンプ場	汚水	汚水流入渠水位計	1998	19	—	2.9	
住吉ポンプ場	汚水	汚水ポンプ井水位計	1998	19	—	2.9	
住吉ポンプ場	雨水	雨水沈砂池水位計	1998	19	—	2.9	
住吉ポンプ場	雨水	雨水ポンプ井水位計	1998	19	—	2.9	
住吉ポンプ場	雨水	降雨量計	1998	19	—	3.1	
住吉ポンプ場	雨水	降雨強度計	1998	19	—	2.2	
住吉ポンプ場	汚水	汚水圧送流量計	1998	19	—	10.3	
住吉ポンプ場	雨水	雨水沈砂池排水流量計	1998	19	φ100	10.5	
住吉ポンプ場	汚水	監視操作盤	1998	19	900W×650D×2300H	5.0	
住吉ポンプ場	汚水	計装盤	1998	19	800W×650D×2300H	5.0	

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)
処理場・ポンプ場等の名称	合流・汚水・雨水の別	対象施設	設置年度	供用年数	施設能力	概算費用 (百万円)	備考
宇賀浦ポンプ場	合流	高圧引込盤_H1	1977	40	900W×2000D×2300H	8.6	
宇賀浦ポンプ場	合流	高圧受電盤_H2	1977	40	700W×2000D×2300H	8.6	
宇賀浦ポンプ場	合流	No. 1, 2汚水ポンプ盤_A1	1977	40	900W×1200D×2300H	8.2	
宇賀浦ポンプ場	合流	自家発電装置	1977	40	ブラシレス交流発電機350kVA	88.0	
宇賀浦ポンプ場	合流	消音器	1977	40	—	9.9	
宇賀浦ポンプ場	合流	発電機盤_G1	1977	40	800W×1900D×2300H	10.6	
宇賀浦ポンプ場	合流	自動始動盤_G2	1977	40	800W×1900D×2300H	10.6	
宇賀浦ポンプ場	合流	直流電源装置	1988	29	1100W×800D×2300H、300Ah	13.3	
宇賀浦ポンプ場	合流	温水循環ポンプ	1997	20	0.25kW×2P	2.6	
宇賀浦ポンプ場	合流	温水ヒーター	1997	20	—	0.9	
宇賀浦ポンプ場	合流	冷却水ポンプ	1999	18	φ50/40×0.32m <sup>3</sup> /min×16.5m、1.5kW	2.6	
宇賀浦ポンプ場	合流	冷却減圧水槽	1977	40	—	3.2	
宇賀浦ポンプ場	合流	燃料ポンプ	1977	40	φ25×40L/min×3kg/cm <sup>2</sup> 、0.75kW	2.6	
宇賀浦ポンプ場	合流	燃料小出槽	1977	40	—	2.6	
宇賀浦ポンプ場	合流	自家発電機用A重油タンク	1977	40	—	10.2	
宇賀浦ポンプ場	合流	自家発電機用吊上装置	1977	40	2.0t	2.6	
宇賀浦ポンプ場	合流	No. 1/2汚水ポンプインバータ盤	2006	11		12.4	
宇賀浦ポンプ場	合流	動力変圧器き電盤H4	1977	40	700W×2000D×2300H	8.3	
宇賀浦ポンプ場	合流	照明変圧器盤H5	1977	40	900W×2000D×2300H	9.2	
宇賀浦ポンプ場	合流	建物補機変圧器盤H6	1977	40	900W×2000D×2300H	9.6	
宇賀浦ポンプ場	合流	低圧動力変圧器盤H7	1977	40	1100W×2000D×2300H	11.5	
宇賀浦ポンプ場	合流	低圧動力き電盤H8	1977	40	800W×2000D×2300H	7.0	
宇賀浦ポンプ場	合流	照明き電盤H9	1977	40	800W×2000D×2300H	6.1	
宇賀浦ポンプ場	合流	建物補機き電盤H10	1977	40	1200W×2000D×2300H	7.1	
宇賀浦ポンプ場	合流	直流電源装置M6	1997	20	600W×1200D×2350H	15.9	
宇賀浦ポンプ場	合流	自家発電機用給気ファン	1977	40	No. 3×150m <sup>3</sup> /min×32mmAq×3.7kW	1.2	
宇賀浦ポンプ場	合流	自家発電機用排気ファン	1977	40	No. 3×150m <sup>3</sup> /min×32mmAq×3.7kW	1.2	
宇賀浦ポンプ場	合流	切替盤H3	1977	40	800W×2000D×2300H	8.5	
日吉第2MP	汚水	日吉第2ポンプ所制御盤	1995	22	400W×800D×1400H	10.0	
日吉第2MP	汚水	日吉第2ポンプ所故障通報装盤	1995	22	600W×300D×1000H	4.0	
日吉第2MP	汚水	水位計	1995	22		3.0	
榎本第1MP	汚水	榎本第1ポンプ所制御盤	1995	22	800W×300D×1600H、故障通報装置内蔵	10.0	
榎本第1MP	汚水	故障通報装置	1995	22		4.0	
榎本第1MP	汚水	水位計	1995	22		3.0	

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)
処理場・ポンプ場等の名称	合流・汚水・雨水の別	対象施設	設置年度	供用年数	施設能力	概算費用(百万円)	備考
湯川第1MP	汚水	制御盤	1989	28	900W×900D×1800H	11.0	
湯川第1MP	汚水	故障通報装置	1989	28	300W×100D×350H	1.0	
湯川第1MP	汚水	水位計	1989	28		1.0	
合計						3102.8	

備考1) 改築を実施する施設のうち、②1)において状態監視保全施設もしくは時間計画保全施設に分類したものを記載する。

備考2) 対象施設には、改築を行う部位、設備名称を記載する。記載にあたっては、「下水道施設の改築について(平成28年4月1日 下水道事業課長通知)」別表の中分類もしくは小分類を参考とする。

備考3) 「下水道施設の改築について(平成28年4月1日 下水道事業課長通知)」別表に定める年数を経過していない施設については、備考欄において、同通知に定める「特殊な環境により機能維持が困難となった場合等」の内容について、以下の該当する番号及び概要を記載する。

- ① 塩害など避けられない自然条件あるいは著しい腐食の発生など計画段階では想定しえない特殊な環境条件により機能維持が困難となった場合
- ② 施設の運転に必要なハード、ソフト機器の製造が中止されるなど、施設維持に支障をきたす場合
- ③ 省エネ機器の導入等により維持管理費の軽減が見込まれるなど、ライフサイクルコストの観点から改築することが経済的である場合及び地球温暖化対策の推進に関する法律(平成10年法律第117号)に規定する「地方公共団体実行計画」、エネルギーの使用の合理化に関する法律(昭和54年法律第49号)に規定する中長期的な計画等、地球温暖化対策に係る計画に位置付けられた場合
- ④ 標準活性汚泥法その他これと同程度に下水を処理することができる方法より高度な処理方法により放流水質を向上させる場合
- ⑤ 浸水に対する安全度を向上させる場合
- ⑥ 下水道施設の耐震化を行う場合
- ⑦ 合流式下水道を改善する場合

備考4) 改築事業の実施にあたっては、別途、詳細設計等において、効率的な手法等を検討すること。

備考5) 機器周りの配管類、配線類、弁類、ケーブル類は該当機器に含む。

#### ④ スtockマネジメントの導入によるコスト縮減効果

	概ねのコスト縮減額	試算の対象時期	対象施設
約	1209.4 百万円 / 年	100	管路
約	607.8 百万円 / 年	100	処理場 ポンプ場等
約	1817.2 百万円 / 年	100	

備考) 標準耐用年数で全てを改築した場合と比較して、②に基づき健全度・緊急度等や目標耐用年数を基本として改築を実施した場合のコスト縮減額を記載する。